2026年11月CPについて

【11月CP分析】

11月CPは、プロパン720.00㌦/㌧（前月比＋40.00㌦）、ブタン780.00㌦/㌧（前月比＋50.00㌦）と決定されました。9月中旬以降、イエメンの親イラン組織フーシ派とサウジアラビアの間の戦闘が激化したことで、中東地域の戦線拡大と事態の緊迫化が進みました。10月以降、ホルムズ海峡近郊での船舶への攻撃回数も増加しており、中東での地政学リスクの高まりが大きく意識され、冬期の需要期を前にして、LPGを含むエネルギー供給への影響が危惧されております。原油価格は、中東情勢の緊迫化を背景に、9月中旬以降に大幅に上昇した後、10月初旬に若干の下落推移となったものの、その後、再び上昇基調に転じました。アラビアンライト原油価格は、10月1日～28日平均で105.10㌦/バレル、前月比▲4.44㌦/バレルとなりましたが、依然として高い水準を維持しております。原油価格が高値を維持していることに加えて、パナマ運河の混雑・通峡コスト上昇と、足元でアジア地域の需要が伸びてきていることを背景に、今冬に向けた供給不足の懸念から、10月中旬以降、LPG市況は大幅に上昇しましたが、最終的に、11月CPは、大方の予想を下回る値上げ幅で、プロパンCPは720㌦/㌧(前月比＋40.00㌦)、 ブタンCPは780㌦/㌧(前月比＋50.00㌦)にて決定しました。